

資料渉猟余話

その146

戸・京都・神戸など
で進取の気性を持つ
た人々が開業してい

くが、この写真が裏
書通り明治7年の撮

影だとすれば、飯田
下伊那の写真のなか

でも最も早い時期の
写真ということにな

る。ちなみにMSC
松本病院(全久院が

とある。浜松病院長
に転じたのは後の研

究で明治7年4月と
判明している。また

筑摩県は明治9年8
月長野県に合併して

いるので、以後飯田
病院は下伊那役所の

管轄となり、明治12
年6月まで続いた。

さて先の写真に戻
ると、虎岩武・牧野

春郎・熊谷先一郎・
松井亨(敦の誤記

か)という飯田下伊
那の明治初期の医家

で、少し地方史に興
味のある方にはお馴

染みの名前がある。
開設1カ月後に筑摩

県立飯田病院に医学
生として学んだ俊英

たちと推定される。写
真には虎岩武・牧野

春郎・松井亨・湯浅
豊の「病院生」太田

は安政3年飯田藩家
科約説(明治11年訳

ある。

出)を太田良瑞とと
もに訳出し、日本医

学会に貢献した。ち
なみに『七科約説』

は浜松市では「市
宝」に指定されて大

切にされているが、
わが郷土では須田医

院から寄贈された上
巻のみが下伊那教育

会館参考館の片隅に
ホコリを被って眠っ

ていた。

太田良瑞(用成)

・虎岩武ともにそれ
ぞれ興味ある物語が

あるが、それはまた
の機会に譲ることと

して、今回は廃棄さ
れゆく写真1枚にも

このような歴史的背
景があることをお伝

えし、捨てる写真が
あればMSCにこ一

報を請う願う次第で

ある。

MSC(公益社団
法人南信州地域資
料センター)理事長
吉澤健)には様々な
ところから寄贈され
たり、複写させてい
ただいた戦前までの
写真が約4万点スト
ックされている。公
開を期して少しずつ
データ化して整理を
続けているが、昨年
暮れ、喬木村の旧家
から寄贈されたガラ
ス湿板撮影と思われ
る面白い写真が見つ
かったので紹介する。
貴重だと思われた
写真の裏に書かれた
メモは、「紀元二千五
百三十四年即ち明治

七年四月六日午前第
十時 扇町牡丹小路

二於テ」とあり、写
された人物の名前の
肩に「太田生」病院

生」と付され、「十四
年」「十六年」「十八

年」から「二十三
年」までの年数が記

されている。

明治7年は征韓論
政変の最中の187
4年である。フリー

マンが横浜で日本最
初の写真館を開いた
のが1860年の始

め、62年には坂本龍
馬の肖像写真で著名

なピエール・ロシエ
の写真館が長崎に開

業する。その後、江

敏感なこの地域の人

長に太田良瑞(用成

那の明治初期の医家

で、少し地方史に興

味のある方にはお馴

染みの名前がある。
開設1カ月後に筑摩

県立飯田病院に医学
生として学んだ俊英

たちと推定される。写
真には虎岩武・牧野

春郎・松井亨・湯浅
豊の「病院生」太田

は安政3年飯田藩家
科約説(明治11年訳

ある。

出)を太田良瑞とと
もに訳出し、日本医

学会に貢献した。ち
なみに『七科約説』

は浜松市では「市
宝」に指定されて大

切にされているが、
わが郷土では須田医

院から寄贈された上
巻のみが下伊那教育

会館参考館の片隅に
ホコリを被って眠っ

ていた。

太田良瑞(用成)

・虎岩武ともにそれ
ぞれ興味ある物語が

あるが、それはまた
の機会に譲ることと

して、今回は廃棄さ
れゆく写真1枚にも

このような歴史的背
景があることをお伝

嶋 不 濁

1枚の写真・筑摩県立 飯田病院に学んだ俊英たち

・代々飯田藩医)が
任命された。小林郊

人編『下伊那醫學史』
には「幾何もなく太

田良瑞は二の丸へ天
龍病院を新築して独

立」その後「明治
八、九年頃遠州掛川

病院長に転じ後、浜
松病院長となった」

とある。浜松病院長
に転じたのは後の研

究で明治7年4月と
判明している。また

筑摩県は明治9年8
月長野県に合併して

いるので、以後飯田
病院は下伊那役所の

管轄となり、明治12
年6月まで続いた。

さて先の写真に戻
ると、虎岩武・牧野

春郎・熊谷先一郎・
松井亨(敦の誤記

か)という飯田下伊
那の明治初期の医家

で、少し地方史に興
味のある方にはお馴

染みの名前がある。
開設1カ月後に筑摩

県立飯田病院に医学
生として学んだ俊英

たちと推定される。写
真には虎岩武・牧野

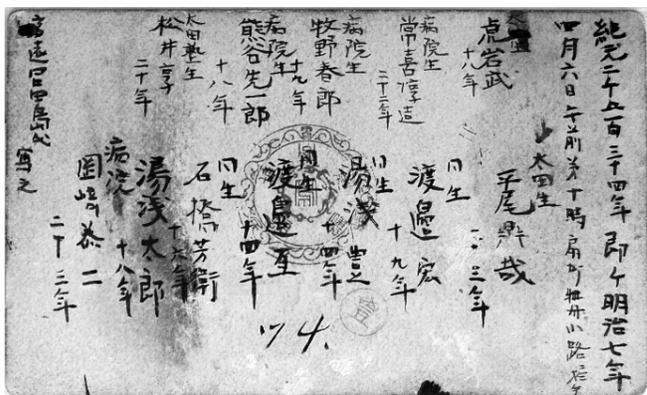
春郎・松井亨・湯浅
豊の「病院生」太田

は安政3年飯田藩家
科約説(明治11年訳

ある。



筑摩県立飯田病院に学んだ俊英たちか (明治7年)



上記、写真の裏の「メモ書き」

出)を太田良瑞とと
もに訳出し、日本医
学会に貢献した。ち
なみに『七科約説』
は浜松市では「市
宝」に指定されて大
切にされているが、
わが郷土では須田医
院から寄贈された上
巻のみが下伊那教育
会館参考館の片隅に
ホコリを被って眠っ
ていた。

太田良瑞(用成)

・虎岩武ともにそれ
ぞれ興味ある物語が

あるが、それはまた
の機会に譲ることと

して、今回は廃棄さ
れゆく写真1枚にも

このような歴史的背
景があることをお伝

えし、捨てる写真が
あればMSCにこ一

報を請う願う次第で

ある。